同営業所では食料品などの輸送を主に手がけている

車を巻き込んだ。この事断歩道を渡っていた自転折する際に、青信号で横所のトラックが国道を左

化担当指導員が同営業所地区トラック協会の適正事故を受け、地元函館

を訪れた。指導員からは、

ていた女性 (当時67歳)

改めて、一から安全へのれてはどうか。御社には「Gマークを自主返納さ

施している口頭による安全指見に一度ドライバーに対して

本

昭和62年1月

更新 C 4枚 3枚

更新 D 4 枚 3 枚 7 枚

更新E 4枚 なし 4枚

7枚

資本金 2,000万円

車 両 数 23台

菜や、冷東ドイノーに北海道で生産された野| ㈱函館食品運輸は、主

近海スルメなどの海産 また乳製品などとい

できた事業所は『Gマーれ、一定の基準をクリア位での取り組みが評価さ

全対策などへの事業所単「運送事業者の交通安

の準備を進めたという。みたい」と感じ、取得へ

主返納を通じて痛感し

安全・安心

安全性向上への施策を継続し認定事業所に返り咲く

に制度概要説明)。 が本格的にスタ-業安全性評価事業(Gマーク制度)」 平成30年度の「貨物自動車運送事 した (4・5面 たものの、 今回は、

リットなどを取材した。Gマーク認定取得の経緯や取得のメ定を受けている事業所を訪問して、 『広報とらっく』では、Gマーク認

所となった、株式会社函館食品運輸せて、27年に再びGマーク認定事業 その後も安全への取り組みを継続さたことによりGマークを自主返納。 (高田幸悦代表取締役) 本社営業所 23年に重大事故が発生し 20年にGマークを取得し

た。なお、 職している。 たベテランドライバー

に音声で車両の動きを知退時に周囲の歩行者などこともあり、左折時・後 き込み事故だったという今回の事故が左折時の巻 こともあり、 安全への取り組み ード面では、

社ではその後も安全

ら、左折時の死角とよる昨年導入した新型車両かックアイカメラ」のほか、 検知した場合にランプや 場所に歩行者や自転車をら、左折時の死角となる 野を確認するための らせる「ボイスアラー き込み防止センサー」 警報音で警告を行う「巻 (写真右下) 、 車両の後方視下)を全車に搭 連携するタイプで、ドラ タコの刷新を行った。 コはドライブレコーダと 社では今年に入ってデジしてから2年が過ぎ、同 レコで車内外の画像を取 \leq 新しく導入したデジタ

バーを集めて指導を実施同社では、全てのドライ確認」の徹底を図った。 において、全ドライバーにおいて、全ドライバー度実施している教育の場 に対して「視界の確保・において、全ドライバー 標準装備させた。 するのが難しいこともあ バーに対して口頭で指、実施できる時にドラ ソフト面での取 分かるようになっているライバーの様子が即座にバーによる運転操作やド 置だけでなく、各ドライことで、各車両の現在位所に5分おきに転送する るという。 安全指導に結び付けてい 取得した画像はドライ ものである。 ドラレコで 本人にも見てもらい し、その画像を同営業 また、モバイ

のは、平成19年のことだ取得に向けて動き始めた

いもあり、

にチャレンジしました」

あり、

「事業者の安全性を

能運行時の飲酒運転防 にも接続しており、長距 ところで、 再度Gマ

業所のドライバーが第1が、23年10月19日に同営なった同営業所であった

切られることはなかった故発生を機に取引を打ち発生を機に取引を打ちた。しかし、事

た。荷主にも重大事故の営業所内には動揺が走っ

Gマーク認定事業所と

重大事故発生により、

引き起こしてしまった。 当事者となる重大事故を

その日の午後、

同営業

視線は明らかに変わって当社に対する荷主からの 向上しているという。 転していることで、ドラ クを付けたトラックを運 ーク返納時よりも格段に イバーの安全意識はGマ していた時期と比べると、 「今はGマークを返納

ドライバーに対

の中には、Gマーク認定現在請け負っている仕事 きたと思います。当社 ことが可能となった像を、即座に営業所ドライブレコーダー

で、既にGマークを知っこともありました。一方主に聞かれた時には、G主に聞かれた時には、G 認定事業所の占める割合認定を受けた20年当時、 を受けた。 たことを非常にうれしくって当社の評価が高まっ くありませんでした。 『G をかけられたことも少な くありませんでした。 を行ったものの、その時 品運輸さんもGマークを 業他社の方から『函館食ておられる荷主の方や同 まだ少なく、 性優良事業所として認定 い、2度目の挑戦で安全翌20年に再び申請を行 取得したんですね』と声 知らなかった荷主も少な は全事業所 は書類の不備などもあっ り、Gマーク取得によないものだ』との声もークはなかなか取得で 「当営業所がGマー の 12 ・ 9 % と Gマークを 重大な事故はなかったもは、 デジタコ導入以前はもあったという。 同社で 改善のきっかけに繋げた騰していたため、「燃費また、当時は燃料費が高 はもちろんのこと、労務導入により、安全性向上に踏み切った。デジタコルタコグラフの本格導入 多く発生していた。しかのの、些細な物損事故が かった」(同)という思い たいという狙いがあった。管理の強化を図っていき 20年10月、同社はデジタ 進めていきました」(同) く、安全への収り目ょってふさわしい姿になるべ が重要です。当営業所とークを維持していくこと 安全性をより高め、 ありません。認定事業所で終わりというわけでは マークを取得したらそれ しても、認定事業所とし Gマーク取得に先立つ そうした物損事故 デジタコ導入によっ 安全への取り組みを 労務

の輸送などを行っている送会社と提携し、雑貨便送しているほか、大手運

た。しかし、『当社のよ大きくない運送会社でし企業規模としては決して

うな中小事業者でもGマた。しかし、『当社のよ

同社が運営している営場運送会社である。なお、

が運営している営業

今回紹介する本社

きるのだろうか』と、

クを取得することがで

のみである。

いもあり、Gマーク取得を試してみたいという思社のこれまでの取り組み

送しているほか、大手運をはじめとした本州に輸

った食料品を、

関東地方

定されます。当時、当社ク認定事業所』として認

は従業員数30人程度と、

導を行うようにしている。 充実ということはありま するためのハード面での 「巻き込み事故を防止

> いることから、ドライ くみられるようになって

ル型アルコールチェッカー

康起因事故が全国的に多

▽重大事故発生によりGマークを自主返納

安全に真摯に取り

組み再度認定事業所に

会社概要 ㈱函館食品運輸 [代表取締役 高田 幸悦] 社 北海道亀田郡 七飯町字峠下405-4

役 運輸 須藤芸 (取材協力) 万則専第 等務取締留館食品 従業員数 26人(うちドライバー23人)

していきます」 当社としては今後 安心。

層の「安全性向上」が求められる時代 安全への意識を高め 「事故ゼロ」を誓う

安全性向上への要請はよそれだけに、荷主からの り強くなってきていると が条件のものもあります。 上への取り組みを聞くと、 Gマーク制度を通じて、三者に評価していただく「安全への取り組みを第ある。 をすべきなのか、 輸送の安全性

地方適正化実施機関

申請受付、受付印押印

受付完了

申請書作成システム」で作成した 申請書、自認書

その他 資料

れなかった申請は、無効とな

所属する都道府県の

その他資料と合わせ、

第1号様式または第6号様式

※注意事項 申請書実費を支払った際 の振替払込請求書兼受領証 のコピーがないと受付でき ません。

地方実施機関へ

鍵になってくるのはドライバーの高齢化対策だという。同社では、40代のドライバーが2人いるほかは大多数が50代のドラかは大多数が50代のドラカは大多数が50代のドライバーである。年齢を重ねることでドライバーの めていきたい」と須藤専防ぐような取り組みを進ら発生する事故を未然に「ちょっとした不注意か 注意力が散漫になるため、ねることでドライバーの また、近年健 サービスの提供を目指し さわしい、高品質の輸送 ーク認定事業所としてふ ーク認定事業所としてふ でいくことができなくな たりました。 を通じて、そのことを痛 を通じて、そのことを痛 を通じて、そのことを痛 を通じて、そのことを痛 を通じて、そのことを痛 がいば、近 を通じて、そのことを痛 高いレベルで維持し続け我が国のトラック輸送を がはっきりと分かるよう何をしてはならないのか 『安全・ 向上を図る

いっていただきたい」と取り組みを着実に進めて Gマークを自主返納し受け、同社は同年11月に 提案された。その提案を 事故を起こし

もに、安全への取り組みい」という強い決意とと 同社では「同じような事 故を二度と引き起こさな Gマーク返納を経て、

「自社のこれまでの取り組みを試したい」

株式会社函館食品運輸

本社営業所

(北海道七飯町)

荷主からの評価を高めたGマーク取得

芳則

社としても取得に挑んで

ク制度の存在を知り、「当公表する」というGマー

てきた同社。Gマーク再への取り組みを継続させ き目に遭いながらも、決 Gマーク返納という憂 に、基本的にはGマーク持ち続けてもらえるよう 返納前と同じことを継続 して『安全への意識』を 取得に動いたのは、事 して諦めることなく安全 して行ってきました」(同)

と一念発起し、会社としんでみようじゃないか」 のでみようじゃないか」 役副社長が「Gマーク再 役副社長が「Gマーク再 信半疑だったという。しできるのだろうか」と半マークを取得することが 組むことが決まった。 てGマーク再取得に取り 受けた事業所が、再びG故によって社会的制裁を られた。須藤専務は、「事てはどうか」と声をかけ の適正化担当的 得に向けて取り組んでみ 「もう一度、 し G G

二度とGマーク認定を失れないよう、気を緩めずに安全への取り組みを継続していかなければならない。と、非常に身が引ない。と、非常に身が引き締まりました」(同) て、これまで以上に安全て、これまで以上に安全 とができて、

Cマーク認定事業所とし得できたということは、一方で、Gマークを再取 いたところもありました。『よく再取得にこぎ着け 一方で、3?いたところもありましたところもありまし びGマー った』と安心したと同 「再取得の際には、 って、本当に良かークを取得するこ

た。 その 吉 となったのである。

するGマーク申請を行っ27年に再び同営業所に関への取り組みを積み重ね、 として認定を受けること は再び安全性優良事業所た。その結果、同営業所

平成30年度貨物自動車運送事業安全性評価事業「申請書作成および申請方法」 (4面に関連)

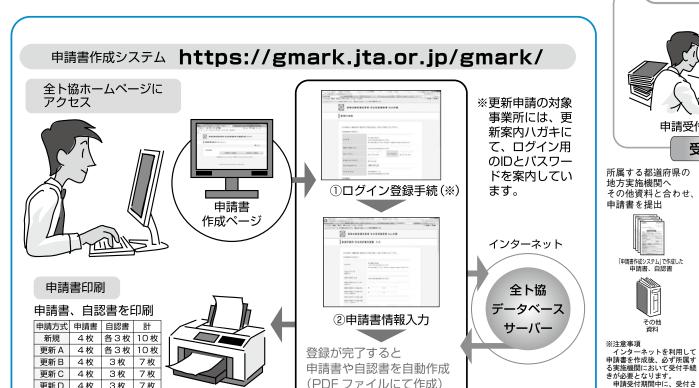
「申請書作成システム」で作成した申請書による申請

申請書作成システムは申請書が無料で作成できます。

「申請書作成システム」の稼働期間:2018年4月16日(月)~同7月13日(金)

※誤って申請書実費を振り込んだ場合は、返金できませんのでご注意ください。

(PDF ファイルにて作成)



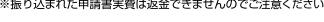


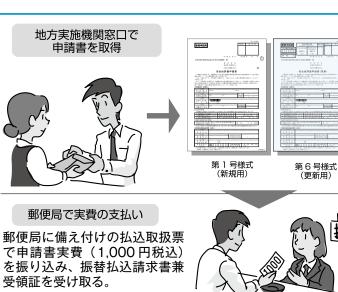
申請受付期間中に、受付 されなかった申請は、無効 となります。 申請受付期間:2018年7月2日(月)~ 同7月13日(金) ※土・日曜日を除く



複写式申請書による申請には申請書の実費(1,000円(税込))を収受します。

※振り込まれた申請書実費は返金できませんのでご注意ください。





※払込手数料はご負担願います。 払込取扱票への記入事項

①口座記号:00190-0 口座番号:550296 額:1,000円

加入者名:公益社団法人 全日本トラック協会 ②通 信 欄:申請書実費 1,000円

申請書に記載した「郵便番号」 「住所」「事業者名 事業所名」 を記入してください。



113.13

郵便局で発行された 振替払込請求書兼受領証 (※ATM を利用した場合 は「ご利用明細票」)をA 4 用紙でコピーし、複写 式申請書に添付する。

必要事項を手書き記入

